
俺様彼氏

紅満 絢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺様彼氏

【Nコード】

N1607J

【作者名】

紅満 絢

【あらすじ】

これが二人のはじまりだったりして。

君の視線

最近、彼とよく目が合う。

全クラス合同の授業中、ふっと後ろを向く
すると視線が絡む
でもすぐに お互いがそらしてしまう

… - まただ

何か用なのかな
それとも… 単なる偶然？

まあ彼、イケメンだし
悪い気はしないけどね。

沖田総悟

彼の名前を知ったのはつい最近の事
最近よく目が合うし、気になるから名前だけでも友達に聞いてみた
するとなぜかあたしは潜り扱い。

聞けば彼は相当モテるらしいから 知らない女子なんて有り得ない
らしいけど

なんか納得いかないなあ…

彼とはクラスも違うし委員会でも部活でも
なんの接点も持ってない

唯一 一緒になると言えば合同授業のときか…
移動教室のとき、彼のクラスの前を通り過ぎるときくらい

関係性が無いと言うか…

接点の持ちようがないっていうか…

それにZ組は銀八が担任ってことだけあって評判が良いとは言えな
いし

知らなくたって仕方ないと思う

そんなあたし達が初めて話したのは
それからずいぶん経ったころ

舞台は体育館での全校集会

「え… それでは最後に風紀委員代表の沖田君からお話がありま
す」

今までうつうつとしていた眠気が
銀八のだるそうな声にふつとぶ

… 沖田君

風紀委員だったんだ

緊張する様子も無く、堂々と前に歩み出てマイクを手取る彼
しかし辺りを見渡しながら、決して話そうとはしない

「…？」

もう前に出て5分経つのに、一向に口を開こうとしない
静まり返った体育館も不安からか徐々にざわめき立ってきて
見ていられないと先生が身を乗り出そうとしたとき…

「相川 空！！！」

「…！！！」

肩が一瞬ビクつと震える

…一瞬何が起こったのか分からなかった

沖田君…今、あたしの名前呼…

「相川 空！！ いねーのかイ？！」

「あ、あたしです！！！！！」

沖田君の迫力に

思わず返事してしまった

我ながら恥ずかしい…

周りの女の子からの視線が痛い…と言うより怖い
ってかあたし何かしたわけ？！

風紀委員に…それも、彼に目をつけられるようなこと…
ダメだ、ぜんっぜん心当たりが思いつかない！！！！

震える足で前に出る
顔を上げれば沖田君の顔がすぐ近くにあって…
かっこいいから
やっぱりドキドキする…

「あの…あたし」

「俺の事知ってるかい？」

「え？あ、はい 一応…」

「じゃあ話は早エーや」

だからその話って何…

「好きでさア 付き合って下せエ」

「え?!」

あの…

今何て…

まさかの公開告白に

一瞬にして周りの雰囲気が一転する
冷やかしだったり 嫉妬の声だったり

「あの… えつと… あたし…」

どうしようっ…

どうしようっどうしようっどうっ!…!…!

「あの…と…友達からよろしく願いします!…!」

咄嗟に出た言葉がコレ

反射的にか分からないけど

握手を求める手もちゃっかり出ちゃってて

これじゃあまるで

あたしから告白したみたいじゃない！

でも沖田君は

そんなあたしに意地悪く微笑んで

「よろしくお願いしまさア」

「…っ」

ベタで有り得ない話だけど

これがあたし達二人のはじまりだった。たり。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1607j/>

俺様彼氏

2010年10月28日05時52分発行